



NTCIR-12 Conference

NTCIR-12 Organizing Committee

c/o NTCIR Office

Rm1309, 2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo 101-8430, JAPAN

Phone +81-3-4212-2750 Fax +81-3-4212-2751

Email: ntc-oc@nii.ac.jp, Secretariat: ntc-mtg-sec@nii.ac.jp

平成 28 年 4 月吉日

拝啓

春草萌えいずる季節を迎え、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今般、国立情報学研究所では、「情報アクセス研究のための評価基盤とコミュニティプロジェクト NTCIR」*1 を推進しております。NTCIR とは 1 年半を 1 サイクルとして、いくつかの研究部門（タスク）を選定し、国内外のおよそ 150 の研究団体の協力のもと、研究基盤として新しい手法の有効性の検証とベンチマークのためのデータセットを構築し、同じ基盤の上で相互比較をしながら、研究を集中的に推進する活動です。各サイクルの最後には、NTCIR カンファレンスを国際会議として開催しております。

おかげさまで、本年 6 月には、第 12 回 NTCIR カンファレンス（NTCIR-12）を開催する運びとなりました。回を追うごとに海外からの参加者の比率が増加し、今回は研究部門参加団体の 3 分の 2 以上が海外からの参加となっております。

開催するにあたりまして、海外からの発表者の旅費の支援を中心に、第 12 回 NTCIR カンファレンスを支援していただけるスポンサーを募っております。スポンサーとなっていたただけた場合には、別紙の要項にございますように、スポンサーの種別に応じて、会場でのブース設置や関連ポスター等の掲示などさまざまな特典がございます。この依頼書とともにスポンサー募集要項を同封しておりますので、ぜひご検討くださいますようお願い申し上げます。

スポンサーは 5 月 1 日を目安として募集を行っております。募集の期間、ご支援の用途等についてご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

海外からの多くの成果を発表していただくことで、本カンファレンスをこれまで以上に国際的なものとすると同時に、日本における情報アクセス技術の更なる発展に繋げていく所存です。ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

NTCIR 実行委員会 委員 Sponsor Chair 関 洋平（筑波大学）加藤 恒昭（東京大学）
NTCIR 実行委員会 委員長 神門（かんど）典子（国立情報学研究所）
酒井 哲也（早稲田大学）
Mark Sanderson（RMIT University, Australia）

事務局 担当：松田 E-mail: ntc-sponsor@nii.ac.jp
Tel: 03(4212)2750 Fax: 03(4212)2751

*1 NTCIR (NII Testbeds and Community for Information Access Research) プロジェクトについては、詳しくは <http://research.nii.ac.jp/ntcir/> をご参照ください。